

礼文地域マリンビジョン

～水産業と観光産業の連携による地域の活性化～

(平成28年3月改訂)

- ・対象地域：礼文町
- ・地域人口：2,776人(平成27年国勢調査)
- ・漁港：第4種礼文西漁港(元地、鉄府)
- ・漁業就業者：372人(平成25年漁業センサス)

■拠点漁港のタイプ

- 衛生管理流通拠点漁港
- 都市漁村交流拠点漁港
- 避難拠点

拠点漁港



第4種礼文西漁港(元地地区)

第4種礼文西漁港(鉄府地区)

地域の資源等

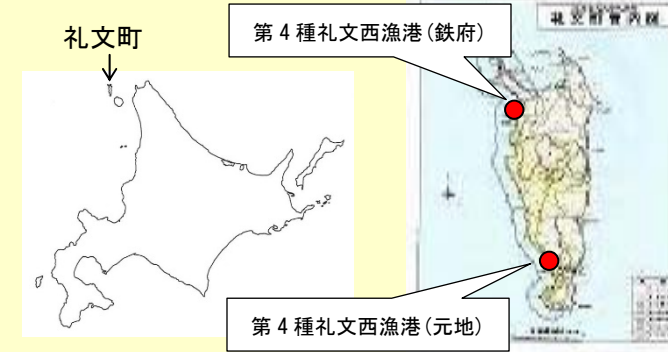


ウニ

タラ

養殖コンブ

【位置図】



現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○町の人口は減少と高齢化が加速している ○水揚状況等の漁業不振が懸念される ○コンブの根への虫付着による等級が低下している ○観光客の入込数が減少傾向にある ○通過型観光の改善、時期の延長に苦戦している
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○海づくりと育てる漁業の取組強化 ○就労環境の整備、就業者支援対策 ○新たな製品開発と供給体制づくりの推進 ○コンブ漁業の協業化推進 ○高齢化と地域性を生かした漁港づくり推進 ○観光スポット開発と体験型観光の充実 ○受入体制の整備とプロモーション活動の充実 ○地域防災対策の強化

地域資源(特徴)

- 【優良魚場をかかえ多種多様な水産資源】
 - ・『礼文島産バフウニ』、『礼文島産リシリコンブ』、『礼文島ホッケ』のブランド品
- 【最北限の国立公園名勝地としての観光資源】
 - ・地蔵岩、猫岩、桃岩、澄海岬、スコトン岬、海馬島、礼文滝
- 【天然記念物を含めた観光資源】
 - ・アツモリソウ群生地、ウスユキソウ群生地、培養センター
- 【体験型の観光資源】
 - ・トレッキングコース(8時間コース、岬めぐりコース、礼文岳コース等)

地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

水産と観光の連携により増養殖事業等を中心とした水産業の振興と地域特性を活かした観光拠点の形成、さらに防災対策の充実による安全安心な礼文地域の形成により、『元気な礼文づくり』を目指す。

○水産業の取組

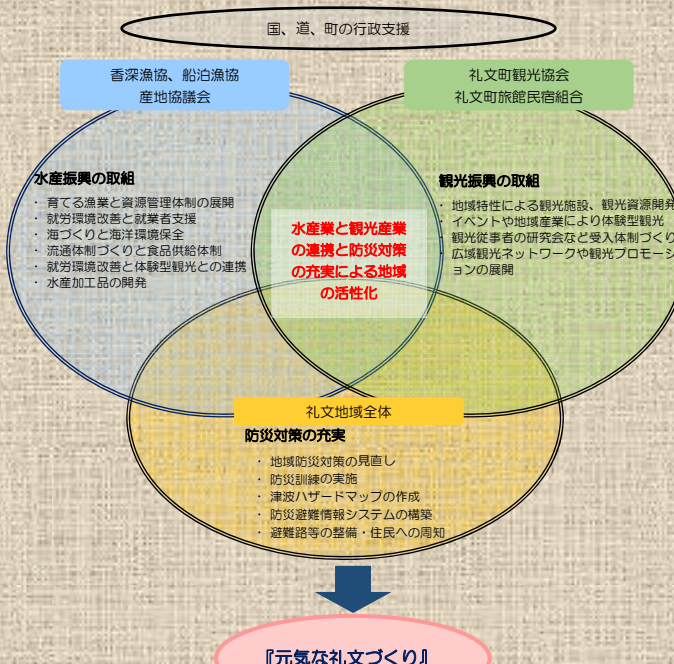
- (1) 地域活力を支える水産業の展開
- (2) 活力とうるおいのある漁村づくり
- (3) 海洋環境の保全
- (4) 安全な食品の供給体制の確立(付加価値)
- (5) 安全と親しみのある漁港づくり

○観光産業の取組

- (1) 地域の特性を生かした観光の展開
- (2) 安全で快適な受け入れ体制づくり
- (3) 魅力を伝えるプロモーションの展開

○地域防災の取組

- (1) 地域総合防災対策の推進



地域マリンビジョン協議会

■マリンビジョン協議会メンバー

- ・漁港利用者 礼文町漁港審議委員(元地) 礼文町漁港審議委員(鉄府)
- ・漁業関係者 香深漁業協同組合専務理事 香深漁業協同組合養殖部会長 船泊漁業協同組合専務理事 船泊漁業協同組合養殖部会長
- ・観光関係者 礼文町観光協会会長 礼文町観光協会副会長
- ・自治会関係者 元地自治会長 鉄府自治会長
- ・商工関係 商工会事務局長
- ・学校関係 校長会長
- ・行政関係者 礼文町副町長

■事務局(礼文町産業課水産担当)

漁港の将来像

- ① 避難港としての機能拡充(防波堤、岸壁、泊地の整備)
- ② 漁船漁業の拠点港としての機能拡充(天蓋施設、防風柵)
- ③ 増養殖支援拠点港としての拡充(天日加工用地(干場)、防砂対策、陸揚げ施設の整備)
- ④ 磯根漁業支援の拡充(船揚場、コンブ協業施設整備)
- ⑤ 漁港における防災対策(外郭、係留施設の耐震・耐浪化)

ビジョン実現のための主な取組み

- 魚礁の投入、囲い礁投石の設置と生産対象生物(ウニ、サケ、アワビ、ヒラメ)の移植、放流
- 就業者支援(奨励金等)及び海岸清掃活動(海の環境)の実践
- ホタテ稚貝養殖、ナマコ中間育成等の新たな養殖漁業への取組み
- 安全な食品の製品開発等(ホッケ製品)による付加価値向上の実践
- 荷捌施設(天蓋施設等)や加工施設(衛生管理)の整備により就労環境と衛生管理体制の構築
- 水産業と観光業の連携による体験漁業等の体験型観光の展開
- インターネットの観光情報システム等の活用による効果的な観光情報PRの実践
- 地域防災計画の見直し、津波ハザードマップの作成等による地域防災力の向上